

様式第1号（第9条関係）

公益財団法人  
 今後創業予定の場合を除き、原則として県内住所・県内事業所名での応募となります。

平成31年1月20日

要望者 〒960-0000  
 住 所 福島県〇〇市〇〇町〇-〇  
 企業・団体名 ふくしま株式会社  
 代表者役職・氏名 代表取締役 福島太郎

印

事業実施期間を設定してください。  
 ※最長で8ヶ月となります。  
 （平成31年11月30日まで）

要望者 〒960-0000  
 住 所 福島県〇〇市〇〇町〇-〇  
 企業・団体名 ふくしま果樹園  
 代表者役職・氏名 代表 鈴木花子

印

ふくしま農商工連携ファンド事業助成金交付要望書

平成30年度ふくしま農商工連携ファンド事業助成金の交付を受けたいので、下記のとおり要望します。

記

1 事業の種類（いずれかに○）

農商工連携創出事業	○
農商工連携支援事業（農商工連携支援機関のみ）	

2 事業の名称 福島産〇〇〇〇を用いた、「商品名：〇〇〇〇」の開発及び販路開拓

3 事業実施期間 平成31年4月1日から平成31年11月30日まで

4 助成事業の経費 (単位：千円)

事業年	助成事業に要する経費	助成対象経費	助成金要望額
1年目	7,500千円	7,500千円	6,000千円
2年目			千円
3年目			千円
計	7,500千円	7,500千円	6,000千円

5 添付書類（各1部）

- (1) 事業計画書 様式第1号（別紙1）
- (2) 反社会的勢力でないことの確約・表明に関する同意書 様式第1号（別紙2）
- (3) 要望者が法人の場合（いずれも複写で可）
  - ・現在事項全部証明書又は履歴事項全部証明書
  - ・全従業員の氏名、住所、生年月日、性別を記した書面
  - ・決算書（直近2期分の貸借対照表、損益計算書、個別注記表）
- 要望者が個人の場合（いずれも複写で可）
  - ・住民票の写し
  - ・確定申告書（直近2期分の第一表、第二表、収支内訳書又は所得税青色申告決算書）

6 助成対象事業に関する事務・経理の総括担当企業・団体名及び総括担当者名等

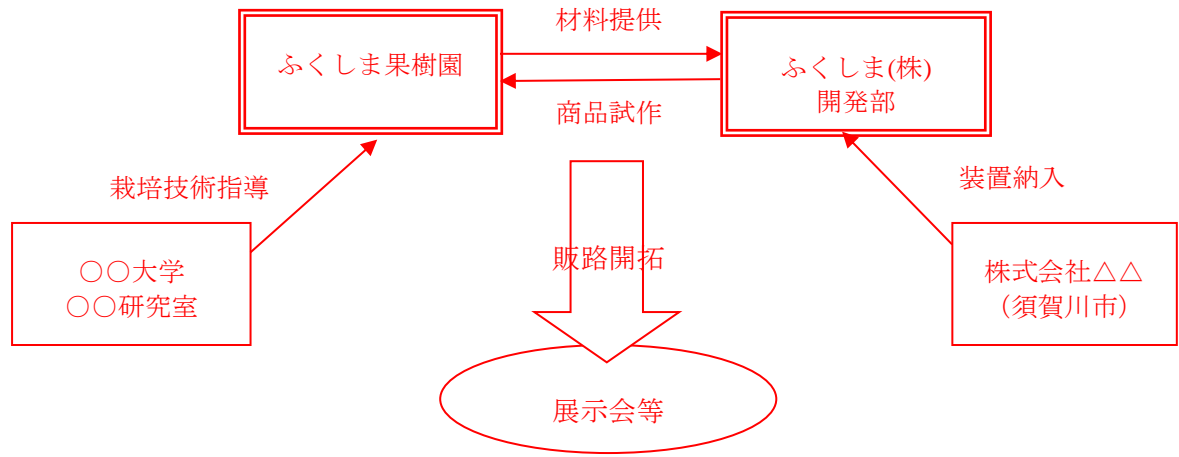
企業・団体名	ふくしま株式会社 開発部		
担当者所属・役職・氏名	部長 福島次郎		
電話番号	024 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇	FAX 番号	024 - 〇〇〇 - 〇〇〇×
Eメールアドレス	fukushima@〇〇〇〇		

(1) 要望者の概要

中小企業者等	名称	ふくしま株式会社	代表者 役職・氏名	代表取締役 福島太郎		
	住所	(〒960-0000) 福島県〇〇市〇〇町〇-〇				
		実施場所 (要望住所と異なる場合、記載すること。) (〒 - )				
	資本 (出資) 金額	〇〇, 〇〇〇千円	出資者及び 出資比率	出資者名		出資比率
	( 創業・ <b>設立</b> ・ 創業予定 ) 年月日	昭和〇〇年〇月〇日		※出資比率 順に記載す ること。	① 福島一郎	〇〇%
従業員数 (常雇)		〇〇〇人	主たる業種 ・事業内容	食品加工・販売 (〇〇〇、△△△)		
				② 福島太郎	〇〇%	
				③ 福島花子	〇〇%	
			④ 株式会社〇〇	〇〇%		
			⑤	%		
			⑥ ほか 人	%		
農林漁業者	名称	ふくしま果樹園	代表者 役職・氏名	代表 鈴木花子		
	住所	(〒960-0000) 福島県〇〇市〇〇町〇-〇				
		実施場所 (要望住所と異なる場合、記載すること。) (〒960-00xx) 福島県xx市〇〇町〇-〇 (農園)				
	資本 (出資) 金額	- 千円	出資者及び 出資比率	出資者名		出資比率
	( <b>創業</b> ・設立・ 創業予定 ) 年月日	平成〇年〇月〇日		※出資比率 順に記載す ること。	①	%
従業員数 (常雇)		〇人	主たる業種 ・事業内容	〇〇〇栽培 (圃場〇〇ha)		
				②	%	
				③	%	
			④	%		
			⑤	%		
			⑥ ほか 人	%		

創業、設立、創業予定のいずれかを必ず選択してください。

事業実施体制 ※企業間又は部署間の役割分担を、相関図等を用いてわかりやすく記載すること。



産業財産権等の 取得・出願件数	取得済	0件	職務発明の取扱いに 関する規則等の有無	有 ・ 無
	出願中	0件		
その他特記事項	特になし。			

(2) 事業内容

事業の名称	福島産〇〇〇〇を用いた、「商品名：〇〇〇〇」の開発及び販路開拓 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">20字～30字程度で、事業内容を簡略に表現する名称としてください。 採択となった場合、この名称はマスメディア等に公表いたしますので、機密内容が含まれる表現は避けてください。</div>
事業の概要 (100字程度)	〇〇〇〇を用いた商品について、新たに・・・という加工手法を用いることで、より・・・の効果が期待できる。 そこで、新たに〇〇〇〇を導入し、・・・に改良を加えながら新商品を開発する。また、それを展示会に出展し、販路の開拓を図る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「事業の具体的内容」を抜粋し、簡潔に技術開発等の目的と手法が伝わるよう、平易な表現で記載願います。</div>
事業の具体的 内 容	<p>1. 地域資源としての農産物〇〇〇〇について</p> <p>福島県〇〇市は、・・・という気候的特性から、〇〇〇〇の生育に適した環境であり、面積当たり収量が極めて高い(表1参照)。しかし、現状では・・・という加工法がほとんどであり、〇〇〇〇という課題を解決した加工が実現できれば、新たな県産品の創出につながり大きな需要が期待できる。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid red; width: 200px; margin: 20px auto; padding: 10px;">表1</div> <p>2. これまでの取組み内容について</p> <p>〇〇〇〇の加工方法の実現に当たり、これまで基礎研究に取り組み、次のような成果を得た。</p> <p>(1) ××大学と連携し、・・・。</p> <p>(2) 需要調査のため、・・・。</p> <p>(3) 以上の結果から、・・・。</p> <p>3. 技術的課題及びその解決方法</p> <p>これまでの研究結果を踏まえ、開発に当たっては2つの技術的課題があると考えられる。また、それぞれの課題については、次のとおり対応し、解決を図っていく。</p> <p>(1) 〇〇〇〇の課題について： ・・・することで解決を図る。</p> <p>(2) ...という課題について： 〇〇〇〇を改良することで、性能を高める。</p> <p>4. 新規性・独創性(競合品と比べての優位性)</p> <p>従来品は、以下のとおり・・・であるが、本開発品は〇〇〇〇が・・・であるため、他社と比べて優位性があり、新規顧客の獲得が見込める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"><div style="border: 1px solid red; width: 200px; height: 80px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">従来品</div><div style="border: 1px solid red; width: 200px; height: 80px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">開発品</div></div>

図や表を積極的に活用し、これまでの成果や今後の開発内容がわかるよう、項目立てて説明してください（記載欄は自由に拡張してください。それにより、ページが複数にわたっても構いません）。必要に応じて補足資料を添付していただくことも可能です。  
 なお、文章中で専門用語を用いる場合は、適宜解説を入れてください。

外部への委託・指導又は協力	委託先・協力者等の名称		委託・協力等の内容				
	□□株式会社（郡山市） 国立大学法人〇〇大学 〇〇学部 教授 東京一郎		パッケージデザイン 〇〇〇〇の最適な生育条件についての技術指導				
市場の状況及び販売戦略等	2017年版〇〇〇〇白書によると、〇〇〇〇の市場規模は〇〇〇〇億円であるとされており、その内の〇〇%を占めている国内市場では、〇〇億円の市場が見込める。今後も・・・により市場はさらに拡大していくと考えられる。 販売戦略としては、既存顧客への売り込みを行うとともに、海外も含め展示会出展等を行い、新規顧客の取り入れを見込む。						
事業成果（目標） 中小企業者等	ターゲットとなる市場の規模や特徴、成長性、及び販売戦略について記載してください。						
	事業化完了時の販売単価を〇〇円と考えている。従来品は××円であり、若干割高とはなるが、・・・という優位性をPRしながら販売拡大を図る。 完了1年後（32年）売上目標 〇〇円 × 〇個 = 〇〇〇万円 ・・・・ 完了5年後（36年）売上目標 〇〇円 × △△個 = △, △△△万円						
	「市場の状況及び販売戦略等」の記載内容を踏まえ、事業の成果（目標）について、販売単価・数量等を用いて具体的に記載してください。						
	事業化商品等の売上目標	助成事業前（平成30年）	助成事業完了時（平成31年）	完了1年後（平成32年）	完了3年後（平成34年）	完了5年後（平成36年）	事業化（予定）時期
		0万円	0万円	〇〇〇万円	△△△万円	△, △△△万円	平成31年12月
事業成果（目標） 農林漁業者	「商品名：〇〇〇〇」の商品化に併せ、〇〇〇〇を原料として、ふくしま株式会社に対して継続的に提供する。また、商品販売の増加に併せ、生産量を以下のとおり増大していく。 完了1年後（32年）出荷高 〇〇円 × 〇kg = 〇〇〇万円 ・・・・ 完了5年後（36年）出荷高 〇〇円 × △△kg = △, △△△万円						
	当該事業に係る農林水産物の売上目標	助成事業前（平成30年）	助成事業完了時（平成31年）	完了1年後（平成32年）	完了3年後（平成34年）	完了5年後（平成36年）	
		0万円	0万円	〇〇〇万円	△△△万円	△, △△△万円	
地域経済への効果	開発に当たっては、県内企業への材料発注を予定している。また、事業完了後は、事業展開に係る人員として〇〇名程度の地元採用を計画している。						
	事業の開発及び事業化を行うことにより、想定される地域経済への効果を具体的に記載してください。						

<p>他の助成金等の 交付(申請)状況</p>	<p>〇〇市「新商品開発等補助金」に申請中。（申請金額 300 万円、30 年 8 月下旬に採否決定予定。）</p> <p>この事業について、過去に他の助成金（国、市町村、公社、民間等）の交付を受けたもの又は現在申請中のものがあれば、そのテーマ（概要）・助成元・助成金額・交付決定（申請）年月日を記載してください。 特記事項なしの場合は、「特になし。」と記載してください。</p>
-----------------------------	--

※「事業化」とは、助成対象事業における新商品や新サービス等について商取引を開始した時点を指す。

(3) 収入

中小企業者等の助成金相当額  
(助成対象経費の5分の4以内)  
を記入します。

は、年次ごと  
1 年 目

事業実施期間中にかかる助成金相  
当額の資金調達先を記入します。

ア 収入の部 (中小企業者等)

(単位：円)

科 目	予算額	資金の調達先
助成金	4,000,000	右記
自己資金	1,000,000	
その他	0	
合 計	5,000,000	

事業実施中の資金の調達先

区分	予算額	資金の調達先
自己資金	1,000,000	
借入金	3,000,000	〇〇銀行
その他	0	
合 計	4,000,000	

イ 支出の部 (中小企業者等)

(単位：円)

経費の区分	事業に要する 経費	助成対象経費	明 細 (使途を詳細かつ明瞭に記載すること。)
謝金	600,000	600,000	専門家謝金 〇〇大学 〇〇学部 ××教授 @50,000 円×12 回
旅費	100,000	100,000	職員旅費・宿泊費 東京⇄福島往復新幹線 15,000 円/回×4 回×1 人=60,000 円 上記出張に係る宿泊費 10,000 円/人×4 回×1 人=40,000 円
原材料費	700,000	700,000	〇〇〇 (提供元：ふくしま果樹園) @5,000 円/kg×140 kg=700,000 円 (原価相当額)
機械装置・工具器具費	750,000	750,000	△△装置 @100,000 円×1 台=100,000 円 ××機リース料@65,000 円/月×10 月=650,000 円
委託費	700,000	700,000	成分分析費 @50,000 円×3 回=150,000 円 パッケージデザイン @60,000 円×パッケージ 5 種 展示会用ポスター・チラシ デザイン代 250,000 円
会場設営・運営費	1,600,000	1,600,000	フーデックスジャパン 小間使用料 500,000 円 装飾費用 300,000 円 インターナショナルギフトショー 小間使用料 500,000 円 装飾費用 300,000 円
その他の事業費	550,000	550,000	チラシ印刷代 @25 円×2,000 枚=50,000 円 振込手数料@648 円×10 回=6,480 円 商標登録費用 400,000 円 展示会用アルバイト
合 計	5,000,000	5,000,000	

連携体の構成員から農林水産物を調  
達する場合、利益をのせない原価取  
引で調達する場合のみ、対象となり  
ます。

ポスター等を作成する場合、デザ  
イン代は「委託費」、印刷代は  
「その他の事業費」に計上してく  
ださい。

「事業に要する経費」  
に、対象外経費を計上し  
ていない場合、「助成対  
象経費」は同額となりま  
す。

事業遂行に当たり最低限必要となる経費のみ計上してください。  
算出根拠については、見積を取るなどして、現実的な試算内容と  
してください。算出根拠が不明確な場合等、見積書の提出を求める  
こともありますので、あらかじめご承知置きください。  
また、経費がどの区分に該当するかについて不明な場合には、お  
問い合わせください。

ウ 収入の

農林漁業者の助成金相当額（助成対象経費の5分の4以内）を記入します。

科目	予算額	資金の調達先
助成金	2,000,000	右記
自己資金	500,000	
その他	0	
合計	2,500,000	

事業実施期間中にかかる助成金相当額の資金調達先を記入します。

(円)

事業実施中の資金の調達先

区分	予算額	資金の調達先
自己資金	2,000,000	
借入金	0	
その他	0	
合計	2,000,000	

エ 支出の部（農林漁業者）

(単位：円)

経費の区分	事業に要する経費	助成対象経費	明細 (使途を詳細かつ明瞭に記載すること。)
謝金	400,000	400,000	栽培に係る指導 ○○農業大学 ○○学部 ××教授 @100,000
旅費	300,000	300,000	旅費・宿泊費 東京⇄福島 15,000円 上記出張に 10,000円
原材料費	600,000	600,000	苗、種 肥料（試験栽） @3,000円
機械装置・工具器具費	400,000	400,000	△△装置 @100,000円×1台=200,000円 ××機リース料 @200,000円/年×1年分=200,000円
委託費	400,000	400,000	○○の一次加工委託（○○株式会社） @50,000円×8回
会場設営・運営費	0	0	
その他の事業費	400,000	400,000	農業用資材 振込手数料 @648円×1
合計	2,500,000	2,500,000	

事業遂行に当たり最低限必要となる経費のみ計上してください。算出根拠については、見積を取るなどして、現実的な試算内容としてください。算出根拠が不明確な場合等、見積書の提出を求めることもありますので、あらかじめご承知置きください。  
また、経費がどの区分に該当するかについて不明な場合には、お問い合わせください。

「助成事業に要する経費」に、対象外経費を計上していない場合、「助成対象経費」は同額となります。

※各事業者の収支の額は一致すること。



オ 支出の部（中小企業者等と農林漁業者の合計）

（単位：円）

経費の区分	事業に要する 経費	助成対象経費
謝金	1,000,000	1,000,000
旅費	400,000	400,000
原材料費	1,600,000	1,600,000
機械装置・工具器具費	900,000	900,000
委託費	700,000	700,000
会場設営・運営費	2,000,000	2,000,000
その他の事業費	900,000	900,000
合 計	7,500,000	7,500,000

前記「イ」と「エ」の表を基に、  
それぞれの項目の合計額を記入しま  
す。

助成金要望額（5分の4以内、千円未満切捨）

6,000 千円

(4) 事業実施スケジュール (事業期間が1か年を超える場合は、年次ごとに別葉で作成すること。)

期間 : 平成31年4月1日 ~ 平成31年11月30日 ( 1 年 目)

実施時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	月	月	月	月
事業内容												
[中小企業者]												
事業内容												
・設備導入	○○機搬入、据付け											
・商品開発		○○課題解決			評価、改良							
				デザイン決定				○○出展、フォロー				
・展示会出展	調整委員会 (4回予定)											
[農林漁業者]												
事業内容												
・生育期間	育苗、植付け、生育				評価、改良							
・技術指導	専門家による指導 (月1回、計7回予定)											
・展示会出展							○○出展、フォロー					

※事業期間を明記し、各期の主な取組みのスケジュールを記入すること。

※任意様式によるスケジュール表を添付することで、この用紙に代えてもよい。

## 反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書

公益財団法人 福島県産業振興センター理事長 殿

私は、次の①の各号のいずれかに該当し、もしくは②の各号のいずれかに該当する行為をし、または①に基づく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、ふくしま農商工連携ファンド事業への要望（申請）が拒絶されても異議を申しません。また、これにより損害が生じた場合でも、一切私の責任といたします。

①現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。

1. 暴力団 2. 暴力団員 3. 暴力団準構成員 4. 暴力団関係企業
5. 暴力団員でなくなつてから5年を経過していない者
6. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等
7. 前各号に掲げる者と次のいずれかに該当する関係にある者
  - イ 前各号に掲げる者が自己の事業又は自社の経営を支配していると認められること
  - ロ 前各号に掲げる者が自己の事業又は自社の経営に実質的に関与していると認められること
  - ハ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって前各号に掲げる者を利用したと認められること
  - ニ 前各号に掲げる者に資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められること
  - ホ その他前各号に掲げる者と役員又は経営に実質的に関与している者が、社会的に非難されるべき関係にあると認められること

②自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約いたします。

1. 暴力的な要求行為 2. 法的な責任を超えた不当な要求行為
3. 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
4. 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴センターの信用を棄損し、または貴センターの業務を妨害する行為
5. その他前各号に準ずる行為

③上記に関して不法行為があった場合は法的措置（民事・刑事）を講じられても構いません。

記入日 平成30年10月20日

住所（又は所在地）

福島県〇〇市〇〇町〇-〇

社印（角印）でも可。

社名及び代表者名又は  
個人事業主の氏名

ふくしま株式会社  
代表取締役 福島太郎

印

住所（又は所在地）

福島県〇〇市〇〇町〇-〇

社印（角印）でも可。

社名及び代表者名又は  
個人事業主の氏名

ふくしま果樹園  
代表 鈴木花子

印

**【参考様式】**

※ 法人の場合、作成する。

空欄のままご提出ください。

【照会番号総務

】

<p>企業名</p> <p>〇〇〇株式会社 ※略称でなく、正式名称で記入</p> <p>福島県福島市〇〇町〇-〇 ※本店所在地（都道府県名から記入）</p> <p>食料品製造業 ※主たる業種（日本標準産業分類、中分類）</p> <p>代表取締役 福島 太郎 ※代表者役職・氏名を記入</p>				
No.	住所	氏名（ふりがな）	生年月日	性別
1	<p>福島県郡山市〇〇〇1-1</p> <p>※都道府県名から記入</p>	<p>(ふくしま たろう)</p> <p>福島 太郎</p>	昭和33年8月1日	男
2	<p>福島県福島市〇〇〇1-1</p> <p>※都道府県名から記入</p>	<p>(ふくしま はなこ)</p> <p>福島 花子</p>	昭和38年1月1日	女
3		( )	昭和	
4	<p>※ 日本標準産業分類、中分類の確認方法</p> <p>①「総務省   統計基準・統計分類   日本標準産業分類」Web ページ (<a href="http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/">http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/</a>) にアクセス。</p>			
5	<p>②「現行の日本標準産業分類」ページに移動し、「分類項目名、説明及び内容例示（一覧表示）」をクリック。大分類が表示されます。</p>			
6	<p>③該当する大分類をクリックし、該当する業種を小分類や細分類に見つけた場合、その業種が属する「中分類」を記入する（各項目の説明や内容例示を確認すること）。</p>			
7		( )	昭和	
8		( )	昭和	
9		( )	昭和	
10		( )	昭和	

※行が足りない場合は、適宜追加してください。